

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
知ろう！あそぼう！大和川		北区役所			
事業目的	事業内容	活動指標	H29		
区民評議会の、「幼児期から「北区の歴史・文化・自然」に関わる連続性のある学習(体験)機会の充実を図る。」という答申を踏まえ、北区を流れる大和川をテーマに、自らのまちの特徴的な歴史や自然を知ることにより、魅力や愛着を感じてもらい、まちへの絆や誇りを育むことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・大和川の生き物展示と遊びのコーナー ・大和川に関する写真やパネル等の展示 ・大和川の生態系等に関するお話し ・大和川クラブの小学生による発表 ・大和川かるたあそび ・石ころアート ・大和川河川事務所による各種資料の配架 	参加者数	【参加者】 子ども 80人 大人 70人 【パネル展観覧者】 延べ 400人		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ まちの特徴的な歴史や自然を知ることにより、魅力や愛着を感じてもらい、区民自らがまちへの絆や誇りを育み、かつ、環境問題に関する気づき、学び、取組を促す必要があるため。	◎ 地域ボランティアが、生き物展示や生態系についてのお話、小学生による発表など各コーナーの運営を行い、主に広報や調整を行政が担うことにより、協働での事業実施となっている。	○ 大和川に住む生きた魚や虫を見ながら、漁師さんによる大和川の生態系についてのお話などを聞くことにより、自らのまちの特徴的な歴史や自然への関心を高めることにつながる。	○	大和川の生き物展示や生態系についてのお話、また、小学生による発表や遊びのコーナーを地域ボランティアが運営することにより、市民協働かつ事業費を抑制した事業実施となった。	
⑤自立発展性	総合評価				
◎ 事業実施については、地域ボランティアが主体的に出展者や発表者の選定、司会や各コーナーの運営を行っているため、自立発展性が高い。	○ 大和川の生き物展示や生態系についてのお話、また、小学生による発表や遊びのコーナーなど地域ボランティアと市民協働による事業を実施することができた。また、北区を流れる大和川をテーマにすることにより、北区まちづくりビジョンにかかげる「環境問題に関する気づき、学び、取組を促す」ことの実現やまちへの関心・愛着を持つきっかけとなり、参加者同士の交流も深めることができた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	北区を流れる大和川をテーマに、地域ボランティアと協働で事業実施することで、まちへの関心や愛着を持つきっかけづくりになっているとともに参加者同士の交流につながっている。今回、大和川をテーマに事業実施し一定の成果を得られたが、今後は、北区にある他の歴史・文化・自然にも注目し、北区まちづくりビジョンにかかげる「環境問題に関する気づき、学び、取組を促す」ことの実現や、より、魅力や愛着を感じてもらい、まちへの絆や誇りを育むことができるよう努めていく。				